

1. 参考文献

- ・「金融検査マニュアル」、金融監督庁、1999年（金融庁のホームページに最新版を掲載）

2. バブル期までの日本の金融機関経営の問題点

- ・ **リスク管理全般の甘さ**（成功体験への拘泥、経営の関与の弱さ、**リスク把握**の不統一性等）
- ・ **土地担保に安住した資産保全策**（土地神話の強化、審査力の弱体化、ホリウム至上主義の銀行経営）
- ・ **横並び意識**の経営（儲かる分野には集中豪雨的に融資 **分散効果**の認識の低さ）
- ・ 第三者からのチェックの効きにくい**内部管理体制**（変化に対する主体的な対応が困難）

3. 金融検査マニュアルの策定（1999年）

- ・ 資産査定**基準の明文化**（1997年まで査定基準は対外秘の扱い）
- ・ **リスク管理の重視**（分野：信用リスク、市場関連リスク、流動性リスク、事務リスク、システムリスクなどリスク・カテゴリー別）
- ・ 内部監査や**外部監査**の重視（自らの問題点を炙り出す工夫のひとつ 「己を知る」ことが大切）
- ・ **経営全体**としてのリスク管理への関与が必要：担当者任せでは不適切
緊急時対応計画（コンティンジェンシー・プラン）の整備も重要な事前準備

（3.1）信用リスク管理の課題・・・与信相手の債務不履行などのリスク

- ・ 早期是正措置に伴う**自己査定制度**の定着 **適切な引当・償却**(B/Sの透明化) 不良債権処理
銀行等が定期的・網羅的に自己査定 + 公認会計士などのチェック + 金融当局のチェック
債務者区分（正常先、要注意先、破綻懸念先、実質破綻先、破綻先）と対応した**債権分類**：
回収可能性（含む担保・保証）に基づき 分類（正常債権）～ 分類（回収不能債権、要償却）に
債務者区分が低い借り手には貸出が困難化・・・借り手からは「貸し渋り」にみえることも
- ・ **内部格付の精緻化**・厳格な運用管理 **信用リスクに見合った金利の設定** **統計学**の知識も必要
- ・ **案件審査力の強化** + **事後フォロー**の厳格化 + **不動産価格判断**の適正化
- ・ 取引先の**信用リスク削減のための積極的な働きかけ**（**経営再建計画**等）

（3.2）市場リスク管理の課題・・・金利、価格変動、為替相場変動などのリスク

- ・ VAR（バリュー・アット・リスク）など**リスク管理手法の高度化** **統計学**の知識も必要
- ・ 株式持合いに伴う**大きなリスク**への対応・・・**株式保有額の抑制** 持合い解消の売り
- ・ デリバティブ組込み商品などの**正確なリスク評価**・・・知らなかったでは済まされない

（3.3）事務リスク管理の課題・・・事務ミス、不正行為などのリスク

- ・ **経営全体**としての事務リスク管理への関与（**アウトソーシング**先も含む）
- ・ **監査**などによる**内部統制の強化** **相互牽制体制**の強化（性善説からの脱却）

（3.4）システムリスク管理の課題

- ・ **開発と運用の分離** + ドキュメントの整備 + **バックアップ体制**の整備 + **緊急時対応計画**の整備
- ・ **情報セキュリティ**の重要性（個人情報の流出の怖さ、不正侵入・業務妨害・なりすまし等のリスク）
- ・ リスク管理の**サイクル**（Plan Do See Plan）
- ・ **システム監査**の重要性：被監査部署からの独立性が大切

（3.5）その他リスク管理の課題

- ・ **流動性リスク**への対応（信用度の維持、緊急時対応計画の整備等）
- ・ **風評悪化**（レピュテーション・リスク）や**法令遵守**（コンプライアンス）への対応
- ・ 積極的な**ディスクロージャー**による信頼回復

4. 日本経済への影響

- ・ 事前審査が厳格化 **資金調達**が以前より難しく（金融機関は「糞」に懲りて「膾」を吹く「面」も？）
とくに**債務者区分の低い借り手**：金融検査マニュアルを読んで銀行の行動パターンを先読み
- ・ 国内銀行の**貸出残高は減少傾向**が続く（6年以上）・・・企業部門は**借入残高の圧縮**に注力

以上